

3月

小鴨コミュニティセンター及び各団体行事予定

※講座等で職員が不在の場合があります。
ご理解をお願いします。

日	月	火	水	木	金	土
なごもう会 10・24日(月)						1
2	3	4	5	6	7	8
春のお茶会 13:30	川柳 シニアクラブセミナー 13:30	健康太極拳	吹き矢 ちぎり絵	ラージ・布ぞうり	水墨	土の会（陶芸）
9	10	11	12	13	14	15
土の会（陶芸） 自治公役員研修会 10:00	ノルディック 福祉協力員・民児協 合同研修会 10:00	健康太極拳	手芸 米子市美術館 9:00 地域安全役員会 19:30	ラージ	うた	R313 開通記念ウォーキング
16	17	18	19	20	21	22
親と子の入学前 交流講座 10:00	子育てママ講座 10:00 体育館開放委員会 19:30	健康太極拳	吹き矢・版画 男のクラブ 10:00	春分の日	隣のDAI学院 10:00 （公開講座）	土の会（陶芸） サロンコンサート （コミセン） 14:30
【3月のミニ講話】 いえの終活（住み継ぎ）について ＊ 倉吉市建築住宅課の方からお話を伺います。						
23	24	25	26	27	28	29
土の会（陶芸） 自治公消防出初式 9:00 炊き出し訓練	ノルディック	健康太極拳 切り絵	手芸 更生保護女性会 総会 13:30	ラージ	うた・健康体操	
30	31	隣のDAI学院 公開講座「中井金三と砂丘社の仲間たち」 日時:3月21日(金)午前10時～11時30分 場所:小鴨コミュニティセンター・やまびこ人権文化センター 講師:波田野頌二郎さん 今年度最後は公開講座です。みなさんお誘い合わせの上ご参加ください。				
	たより等配布日					

3月のお知らせ

講座・教室のお申し込みについて
FAX、メールの場合は、名前、住所、電話番号、申込講座名をご記入ください。詳細は、小鴨コミュニティセンター(電話28-0964)までお問い合わせください。

3/12
(水)

「米子市美術館へ行こう！」

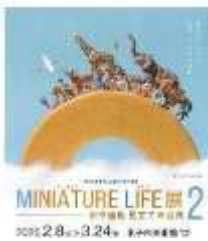
日時:3月12日(水)午前9時～午後2時30分

午前9時 小鴨コミュニティセンター発

定員:20名(先着順)

参加費:2,600円(入館料及び昼食代) 申込締切:3月7日(金)

倉吉市のマイクロバスででかけます！



3/17
(月)

子育てママ講座

小鴨地区で子育て中のママ、プレママ、どなたでも参加できます。一緒に来られるお子さまに必要なものをご持参ください。

日時:3月17日(月)午前10時～11時30分

場所:小鴨コミュニティセンター・やまびこ人権文化センター

講師:杉本宗知さん

参加費:200円(材料代) 申込締切:3月13日(木)



※メールでの申し込み可



3/23
(日)

災害避難所

「炊き出し訓練」

日時:3月23日(日)午前8時集合～11時

場所:小鴨コミュニティセンター・やまびこ人権文化センター

小鴨小学校に設置されている防災倉庫の備品を使って炊き出し訓練をします。お手伝いいただける方を募集します。申し込みいただいた方に、詳細をご連絡します。

おがもコミセンだより

小鴨コミュニティセンター発行 令和7年3月1日No. 48

倉吉市中河原772-6 TEL 28-0964 FAX 28-6034

Email koogamo@ncn-k.net

http://www.ncn-k.net/koogamo/

開館時間:月～金 午前9時～午後5時

令和3年4月より倉吉市小鴨公民館から小鴨コミュニティセンターになりました。



メール用



HP用



ブログ用

【もくじ】 1ページ:今月のお知らせ ほか 2・3ページ:先月の様子、川柳、笑顔だより ほか 4ページ:今月の行事予定 ほか

小鴨小学校 1年生と昔遊び交流会



2月13日(木) 1年生と地域の人たちの昔遊び交流会があり、こま・けん玉・あやとり・お手玉・羽子板・おはじきなどに一緒に活動しました。事前に練習会を行い、担当を決めて昔を思い出しながらそれぞれ練習に取り組みました。うまくできた時には、歓声があがり、参加者たちも夢中になり楽しみました。

小鴨地区、上小鴨地区からあわせて20名を超える地域のみなさんが交流会に参加してくださいました。「教えるどころか、子どもたちに教えてもらい楽しかった。」「子どもと接する機会がないので、とても楽しい時間だった。」と参加者からの感想がありました。最後には1年生代表児童が感想の発表のあとに「来年もよろしくお願いします。」と発表すると参加者から「はい!」と大きな返事が返り、次の1年生を思う言葉にとっても和やかな雰囲気になりました。



小鴨コミュニティセンターでは、保育園や小学校での昔遊び交流会に参加してくださる方を募集しています。今後練習会を重ねて、活動していこうと思っています。園児や小学生と一緒に活動していいよ!と言ってくれる方のご連絡お待ちしております



小鴨地区振興協議会よりお知らせ 日時・内容等の詳しい内容は、3月発行の案内チラシをご覧ください。

サロンコンサートを開催します。

♪3月22日(土) 倉吉室内合奏団・混声合唱団みおジョイントコンサート



2月の様子

小鴨コミュニティセンター主催事業や、各種団体の活動を紹介しています。

2月18日(火)

子育てママ応援講座

「ミニリースの
ナチュラルフレーム作り」

今月は、ままごとくらぶの
野田ゆりさんを講師に迎え開催
しました。ミニリースは、はじめ
から編み方を教えていただきま
した。

作業をしながら、講師の方がご自身の子育ての経
験をお話してくださり、「子育ての話ができてとても
楽しかったです」との感想がたくさんありました。ま
た「周りの方と一緒に制作する時間がとても癒しで
す」との感想もあり、会を重ねて参加することで顔見
知りになりママたちがいい時間を過ごせているよう
でした。



地域の方が、赤ちゃんを
ママを見守ってくださっ
ています♪

おがも川柳会

おかずには主婦の力がためされる
ふるさとは人情厚く村平和
鑑定はしない宝の壺だから
あれこれと買った宝石持ちぐされ
愛情の詰まるおかずを食う至福
先祖から預かる田圃宝です
隣近所今日出会うのが平和なり
ゴミの部屋みんな宝と捨てさせぬ
ごちそうさま里の料理は旬ばかり
あれやこれそれの頻度が多くなり

よう子 酔芙蓉 敦子 さち子 瑞子 祐子 寿々子 白萩 風露 みえ子

2月19日(水)

男のクラブ

2月のミニ講話は、「昨今の損害保険と役割」と題し、
あいおいニッセイ同和損害保険の鳥取支店担当者
さんよりお話を伺いました。



2月22日(土)

コワラ (小鴨を笑顔にする会)

「小鴨コミセンでみんなで合格祈願」
「絵馬奉納～小鴨神社にて」

地域の方から
のメールもあり
ました



昨年12月から1月末までコミュニティセンター2
階ホールにて、「小鴨コミセンでみんなで合格
祈願」として絵馬を準備していました。20枚の
記入がありました。



絵馬は、2月22日に
小鴨神社にて祈禱し
ていただき、コワラ
メンバーでお焚き上
げを行いました。

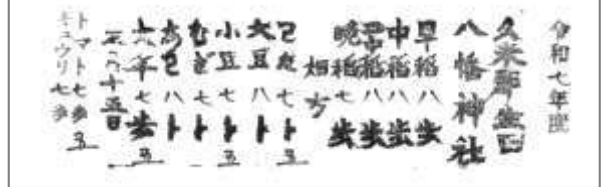


「小鴨のひと・こと・もの」紹介

生田の管粥 (くだがい)

生田では毎年、旧暦の1月14日に「管粥
神事」が八幡神社こもり堂で執り行われて
います。今年の旧暦1月14日にあたる日は、
2月11日でした。管粥とは粥占で、農作物
の出来を占うものです。

＊現在、栽培されている稲の品種に当てはめ
ると、早稲は「ひとめぼれ」、中稲は「コシヒカリ」、
二中稲は「星空舞」、晩稲は「きぬむすめ」だそう
です。大年とは、全体の平均を表すもので概
ね平均値と一致するそうです。



（右から）
わせた
なかく
にちゅう
おくて
畑方
わた
だいた
あずき
むぎ
あわ
大年
正月
トマト
キュウリ

今年の米は早稲から晩稲まで最高評価の
八歩と豊作を示したそうです。

小鴨地区食生活改善推進員より

ブロッコリーとエリンギの
ごま酢和え



日本食生活協会レシピより
「おやこの食育教室」

小鴨地区食生活改善推進委員会のマスコットキャラクターです！

(材料) 4人分
◆ブロッコリー 1株(200g)
◆エリンギ 1パック(100g)
◆すりごま 大さじ1・1/2
◆砂糖 小さじ1
◆酢 小さじ2
◆しょうゆ 小さじ2

(作り方)
①ブロッコリー小房に分ける。鍋に湯を沸かし、塩(分量外)を入れて、
ブロッコリーを2分半ゆでる。ザルにとり、あら熱をとる。
②エリンギは長さを半分にし、切り込みを入れて割く。フライパンを
温め、エリンギを焼き色がつくまで炒め、あら熱をとる。
③ボウルに、すりごま、砂糖、酢、しょうゆを合わせ、①と②を和える。

☺ 小鴨コミセン笑顔だより ☺

新聞報道から伝わる地区の皆さんの活躍ぶり

2月16日の日本海新聞に、音楽(ピアノ)コンクールで金賞
に輝いた福守町の保育園児の紹介が大きく載っていました。
毎朝、新聞をざっと一通り見て確認することが、最近楽しみ
になってきています。

前述の村田咲音ちゃんをはじめ、日本海ふるさと大賞受賞
の高校生グループ「ししGAMO7」の皆さん、倉吉市スポーツ
賞受賞の皆さん、恒例の「生田の管粥神事」、波田野頌二郎さん
と北村隆雄さんの出版に関する記事、その他川西義人さんの
活動などなど、新聞掲載された日にはコミセン事務室内や
来館者の皆さん同士で話題となり、会話が大きく盛り上がっ
ています。「楽しい仲間」コーナーも目を凝らして知り合いを
探してしまいますね。

地域の皆さんの明るい話題には、自然と笑顔で会話がはず
みます。「笑顔あふれるまちづくり おがも」に繋がる地域の皆
さんの活躍を今後も楽しみにしています。(コミセン館長)

